

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
No.1羽島処理区																	
C-1-1	下水道	一般	羽島市	直接	羽島市	汚水	改築	羽島西汚水幹線他枝線（地震対策）	L=220m N=2基	羽島市						1	
C-1-2	下水道	一般	羽島市	直接	羽島市	汚水	改築	浄化センター施設耐震化（地震対策）	耐震化事業	羽島市						0	
C-1-3	下水道	一般	羽島市	直接	羽島市	汚水	改築	地震時応急復旧資機材整備	仮設配管、可搬式ポンプ等	羽島市						4	
													合計	5			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
C-1-1	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、耐震化の向上が図れる。																
C-1-2	基幹事業である施設と接続した管廊整備を一体的に行うことにより、耐震化の向上が図れる。																
C-1-3	地震時に下水道施設が被災した場合においても、下水道施設の機能を確保することができ、地震対策達成率の向上に資する。																

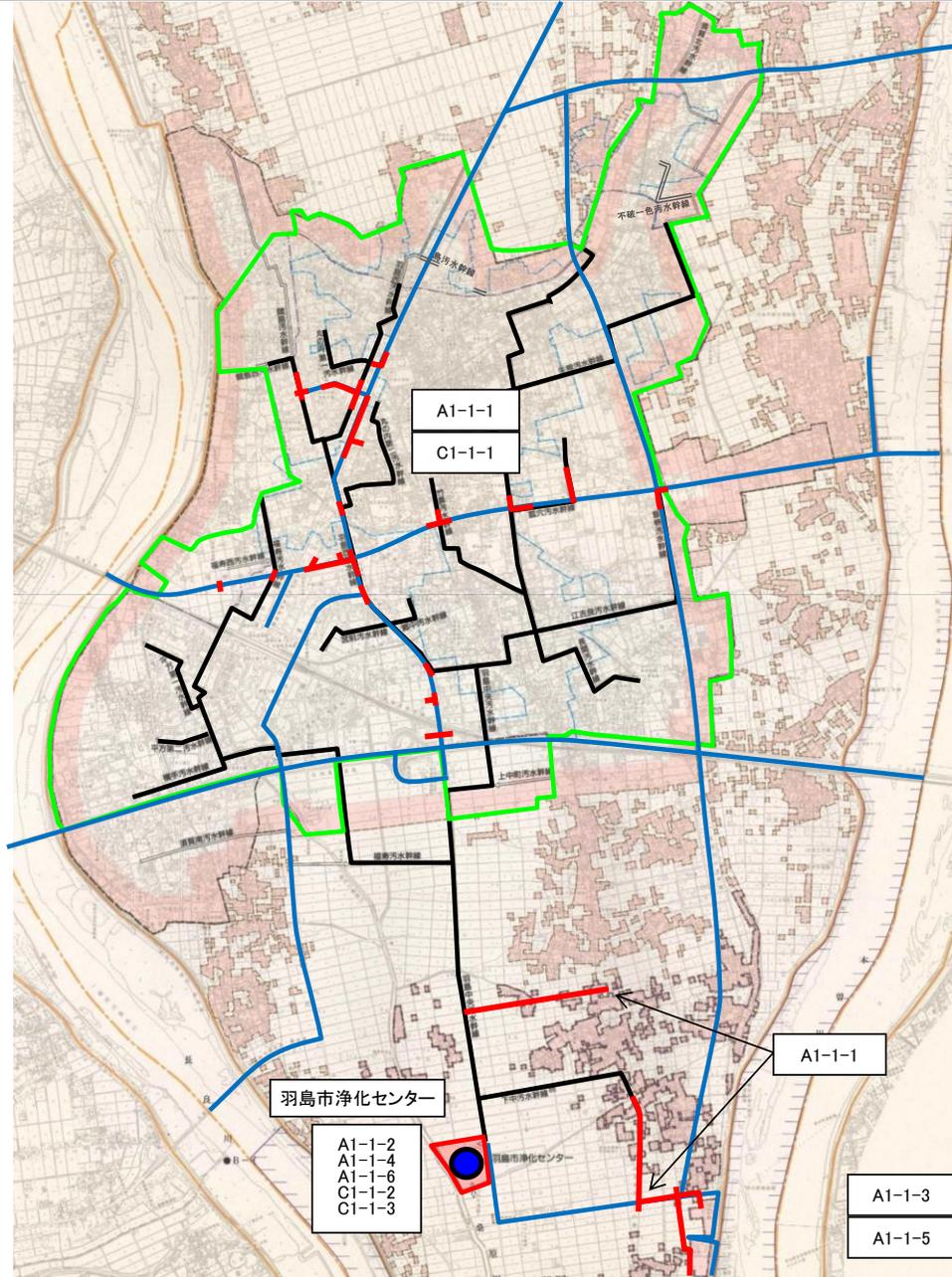
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> 地震対策の実施により、地震における重要な管渠の安全性が向上した。 地震対策の実施により、地震における処理施設の安全性が向上した。 長寿命化対策の実施により、処理施設の機能を確保した。 								
II 定量的指標の達成状況		指標①（重要な管渠の地震対策実施率）	最終目標値	46.6%	目標値と実績値に差が出た要因	交付金等の予算が確保できなかったことなどにより、当初計画で想定していた事業進捗に遅れが生じたため。						
			最終実績値	39.0%								
		指標②（下水処理場の揚排水機能確保の実施率）	最終目標値	76.0%	目標値と実績値に差が出た要因	交付金等の予算が確保できなかったことなどにより、当初計画で想定していた事業進捗に遅れが生じたため。						
			最終実績値	52.0%								
		指標③（下水処理場における長寿命化実施率）	最終目標値	22.5%	目標値と実績値に差が出た要因	交付金等の予算が確保できなかったことなどにより、当初計画で想定していた事業進捗に遅れが生じたため。						
			最終実績値	12.5%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）												
3. 特記事項（今後の方針等）												
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き早期に事業効果が発現できる箇所を計画的に下水道整備を進めていき、安全・安心、快適なまちづくりを推進する。 												

社会資本総合整備計画 参考図面

平成 30年 5月1日

計画の名称	羽島市における循環のみちの実現（防災・安全）		交付対象	羽島市
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）			



- 【凡例】
- 下水道法による事業計画区域（整備予定区域）
 - 処理場
 - 既設幹線
 - 緊急輸送路
 - 地震対策予定管渠
 - 地震対策予定施設